令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

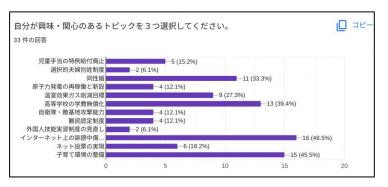
学 校 名			岡山県立津山商業高等学校			
実践者等			伊藤 俊輔		実践日	令和4年7月1日
実践場面			公民・現代社会(選挙のしくみと課題)			
(教科・科目(単元名)、学校行事等)						
対象生徒(学年等)			地域ビジネス科3年			
育成を目指す資質・能力			□知識・技能	■思考力・判断	i力・表現力等 ■	学びに向かう力・人間性等
分類	授業中	■クラウト	[、] やアプリの活力	用 □デジタルデ-	ータの保存	■思考やデータの可視化
		ロデータ♂	D共有や共同編集	集 □対話を充実る	させる活用	■思考を促す活用
		□表現を充	主実させる活用	□課題のやり耳	取りと評価の支援	□効率化や省力化
		□その他	()			
	家庭学習	口振り返	り 口探究	□反転学習	■補習・定着	
生味の内容						

実践の内容

【授業】

(1)前時の復習

前時のワークシートで記入した9つの政党を確認し、そのほか今回の参議院選挙比例代表で投票ができる6つの政党について答える。また、なぜ若者の政答える。また、なぜ若者の政とをが呼ばれているのか、投票率等データを読み解くとともに、投票へ行くことを呼び



かける VOICE PROJECT の動画を観る。

(2) 選挙の争点について考える

気になる選挙の争点トピックについて、3つの視点から投票し、一番多かったトピックに関わる各政党の意見について、ワークシートに記入する。その際、「世界中の困っている人」「日本の困っている人」「私」という視点から、Forms でトピックを選択し、最も多かったトピックに関わる各政党の意見をそれぞれワークシートに記入する。

- (3) <u>読売の VOTE MATCH で、各争点に関する自分の意見を答え、どの政党と意見が近いか参考</u>にした上で、自分がどの政党に比例代表で投票するかを考える。
- (4)ワークシートに振り返りを記入し、気付きをまとめる。

【本時と家庭学習との連動】

(本時前)

前時で学んだ比例代表で投票できる15の政党について、気になる政党があれば調べておく。

(本時後)

他の Vote MATCH についても、参考程度に行ってみる。 また、気になる政党についてはマニフェストを確認し、 争点についての実際の意見に触れる。

